

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 (E-mail:info@haikukoushien.com)

〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2

TEL:089-943-1512(平日13:00~17:00) FAX:089-948-4819

松山市役所 文化・ことば課 (E-mail:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2

TEL:089-948-6952(平日8:30~17:15) FAX:089-934-1287

1月8日に大会要綱が発表され、いよいよ第19回俳句甲子園にむけてのスタートが切られました。大会常連校、初参加校の皆さまの多くのエントリーをお待ちしております。処暑の頃、俳都松山でお会いしましょう。

## キラキラした 高校生が主役

体の先生に爆笑されるほど極度の肩こりで肩がずすと痛かったり。

### 高校生のためなら

そんな踏んだり蹴ったり

がありながらも、俳句甲子園で過ごした時間は充実感にあふれていた。実行委員会メンバーのみなさんは、私に何をしても優しくかつたし、それはもう可愛がっていた。メンバーのみなさんは、バリバリ仕事をしながら俳句甲子園の段取りも完璧にこなし、且ついつでも楽しそうだった。また、心折れそうな準備期間も、出場する高校生たちのためを思うと、不思議となんでもやる気になった。

### いつまでもファン

私が俳句甲子園の大会を実際に見たのは、恥ずかしながら実行委員会に入ってからだった。初めて行った地方大会、大垣 名古屋で感じた感動を私はきつと忘れない。俳句についての知識教養等全くないのに、こんなに感動するなんて……とショックを受けたものだった。いっぞやのブログにも書いたが、俳句甲子園は、俳句を作らない人の心もがちり掴んでしまふ恐ろしい大会。その要素として大きいのが、キラキラした高校生の雄姿だと思ふ。俳句甲子園の近くには居られなくなるが、私はいつまでも、俳句甲子園と高校生のファンをやめられない予感がしている。

俳句甲子園の事務局に勤める一色 遥菜さん(24)は、大会にかかわる様々な事務をしています。残念ながら1月に退職されることになりましたので、運営に携わることで得られた貴重な経験などを教えてもらいました。

### お婆ちゃんも出たい!

1年10か月の短い間でも、「もういやじゃ〜〜」と思うことが何度もあった。ひとりで夜の12時過ぎまで大判のプリンターと格闘し、家に帰れず事務所近くのネットカフェで寝た。「俳句甲子園に出たい」と電話してきたお婆あちゃんに、高校生の大会であることを分かってもらつたため30分熱弁したにも関わらず、そのお婆あちゃんが2日後に同じ内容の電話をかけてきて、再度同じ説明をした

## 今大会の主な変更点

■地方大会の兼題(3句)発表は4月1日(金)です。

■地方大会に出場する場合、1チームにつき参加登録費5000円が必要となりました。(投句応募で参加の場合は不要)

■試合での質疑応答は3分です。全国大会の決勝戦のみ4分

間行います。

■試合での評価について、各審査員が付与できる鑑賞点は2点以内となりました。

■全国大会に進出を決めたチームは、参加申し込み時(地方大会または投句応募)の登録選手を変更または追加することが可能

となりました。

■全国大会初日に行われるウエルカムパーティーで、敗者復活戦兼題が発表されます。

■全国大会で行われる敗者復活戦に進出するチームは、決勝トーナメント2回戦まで進出したチームのうち敗退した3チームと、決勝トーナメント2回戦へ進出したチーム以外から6チームの計9チームとなりました。